

化学的な知識に基づいて考える 環境問題

筑波大学 名誉教授
守橋健二



身近な環境問題をテーマとして教えていく context-based-chemistry が化学教育の有効な手段になっています。

文系学生向けに用意された筑波大学の総合科目「現代人のための科学」の講義を基に一般市民向けに構成した、つくば市のエキスポセンターで開催している「おとなのためのサイエンス講座」の4回分の内容をまとめてお話しします。

空気の汚染、オゾン層、地球温暖化、エネルギー問題の4つの問題を通して、市民レベルで不可欠な基礎的な科学知識をお伝えします。

日時：2022年7月14日（木）13時30分～15時

会場：オンライン（Zoom）で実施いたします

※ 接続方法はお申込みいただいた方にお知らせいたします。

お申し込みは <https://reserva.be/tsukubadanwakai>

主催：筑波大学名誉教授の会 共催：茗溪会、筑波大学



つくば談話会は、筑波大学名誉教授の会のメンバーが自身の活動などについてお話しし、気軽な雰囲気の中で語り合うことを目的としています。
どなたも参加できます。お気軽にご参加下さい。

筑波大学名誉教授の会

〒305-8577 つくば市天王台1-1-1筑波大学学生会館内 電話：029-853-7955

お問い合わせ先：第12回つくば談話会担当 電話：029-853-8284

Mail: tsukuba.danwakai@gmail.com